

## サンルーム製品に関する諸注意

### ■施工される方へのお願い

#### ▲警告

##### ■設置条件

- 建物側の屋根からの落雪による破損防止のため、落雪が製品に直接当たらない場所に取り付けてください。

#### ▲注意

##### ■設置条件

- 本製品は積雪荷重60kg/m<sup>2</sup>(積雪量20cm相当)以下の地域に取付けられる設計となっております。積雪地域への取付けはできません。  
※積雪量1cmあたり3kg/m<sup>2</sup>(比重0.3)で算出しています。
- 本製品は2階以下に取り付ける設計となっております。ただし、2階に取付ける場合は製品が重いので注意してください。(※2階設置の場合は、下屋はRC構造としてください。)
- 屋根置き式・柱建て式仕様にはしないでください。
- 建物から独立して設置しないでください。
- 既存建物に取付ける場合  
延床面積が10m<sup>2</sup>を超える場合は、建築の確認申請が必要です。又、設置場所・規模等により建築基準法上の制限を受けることがあります。
- 新築建物に取付ける場合  
建築関係法令(建ぺい率・容積率・斜線制限等)の規定に合致しているかどうかを一級建築士または二級建築士(木造の場合は木造建築士でも可)の確認を事前に受ける必要があります。
- 2階に取付ける場合は、落下防止の処置を施してください。

##### ■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上のおそれのある地域に取り付ける場合には、凍上線の下まで基礎をもうけてください。

##### ■施工上について

- 母屋の構造材が入っている場所へ取り付けてください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 取付けは必ず専門業者の方が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

### ■お施主様へのお願い

#### ▲注意

1. 製品の破損による物の落下・人の転落・建物の損傷のおそれがありますので、次の項目を守ってください。
  - 積雪荷重60kg/m<sup>2</sup>(積雪量20cm相当)を超える前に雪下ろしをしてください。  
雪の重さは、雪の状態により大きく変化します。特に春先の雪は重たく、降雨や湿雪の後などは新雪にくらべ3倍位の重さになります。  
※積雪量1cmあたり3kg/m<sup>2</sup>(比重0.3)で算出しています。  
(雪おろしの際、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。)
  - 雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり傷つく原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。
  - 床面に180kgf/m<sup>2</sup>を超える荷重をかけないでください。
  - 当社指定の付属品以外(温水器・アンテナ・銀色フィルム)は付けしないでください。
  - 天井に照明用コンセント(スライドシーリング)を付ける場合は、5kg以上または500W以上の照明器具は取り付けしないでください。
  - 当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。
  - 屋根の上に物をのせないでください。
  - 屋根の上には絶対にのらないでください。
  - ボルト・ナット・ねじ等は絶対にゆるめないでください。
2. 身体に悪影響を及ぼすおそれがありますので次の項目を守ってください。
  - 製品内でストーブを使用する場合は必ず換気をしてください。
  - 夏場は製品内が高温になりますので必ず換気をしてください。
  - 製品内でベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤を使用しないでください。
3. 製品内の設置物への被害のおそれがありますので、次の項目を守ってください。
  - 使用状態により結露が発生し、水滴が落ちることがありますので換気をしてください。
  - 木製家具等を長期間置くと色褪せ、反りが生じることがありますのでご注意ください。
  - 温度変化に弱い植物は枯れるおそれがありますのでご注意ください。
4. 脱落による被害のおそれがありますので、次の項目を守ってください。
  - ガラス障子・網戸を取付けた時は、必ず外れ止め部品をセットしてください。
  - 強風時にはドアを必ず締めて施錠してください。

## ■メンテナンス

### 1. 商品の点検

定期的(年一回程度)に、ねじ・ボルト類のゆるみを点検し締め直してください。締め直してもがたつく場合は腐食のおそれがありますので、お買い求めの工務店・販売店またはトステム(株)営業所へご連絡ください。

### 2. 商品のお手入れ

#### ●アルミ製品

アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、砂・ホコリ・塩分などが付いたまま長い時間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受け、腐食の原因になります。お手入れはなるべくマメにしてください。

#### ■お手入れの回数の最低限の目安

お住まいの立地条件	回数
臨海工業地帯	1年に1~2回
海岸の近く、又は工業地帯	1年に1回程度
市街地	1年か2年に1回
田園地帯	2年に1回程度

①汚れが軽い場合:水でぬらしたぞうきんで汚れをふき取り、からぶきします。

②汚れがひどい場合:

(1)水でぬらしたぞうきんで全体についたホコリ・砂などをふき取ります。

(2)うすめた中性洗剤でひどい汚れを落とし、洗剤が残らないようによくふき取ります。

(3)全体をからぶきします。

#### ●パネル

①古くなったパネル・波板は、早めに交換してください。強風・衝撃で破損しやすくなります。

### 3. お手入れの注意

①洗剤は必ず中性洗剤をご使用ください。酸性・アルカリ性・塩素系薬品はアルミ型材・ステンレス部品の腐食や塗膜はがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。

誤って使用した場合は、すぐに大量の水で薬品をよく洗い流してください。

②ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤および有機溶剤入り洗浄剤等をパネル・波板に使用しないでください。

③金属製ブラシ・金ペラ等は、表面の塗膜を傷付け劣化を早めますので使用しないでください。

#### ●フローリングのお手入れ

フローリング材はからぶきまたはワックス掛けしてください。